

協同

〔特集〕 農業労働力の確保に向けた取り組みと成果
JAグループ兵庫農業求人サイトの開設から1年

2021
Aug
KYODO 8



タッグ! 兵庫の農業人

都市農業の長所を生かし、
所得増大や生産拡大につなげる

FARMER × JASTAFF
井上 学さん
本間 知樹さん
詳細は
農委紙へ

兵庫の農業人

生産者の皆さんとタッグを組んだ
多様な営農活動を紹介します。

タッグの様子は動画でも配信中心!

YouTubeで 兵庫の農業・農協発信ch 検索



今月は JAあかし

都市農業の長所を生かし、 所得増大や生産拡大につなげる

収穫したスイートコーンの出来栄について話す井上さんと本間さん



生産者

スイートコーン
生産者
井上 学さん

新鮮な朝採りスイートコーンを通じて、多くの人に野菜の魅力を発信するとともに、ほ場管理を手伝ってくれるスタッフが動きやすい環境をつくっていきます!

JA職員

JAあかし
経済課
本間 知樹さん

大規模なJAではないですが、地域の生産者全員の状況を把握していることを生かして、みんなで一丸となって、あかしの農業を盛り上げていきます!

JAあかしは、農業地帯と消費地が近いという都市農業の利点を生かし、新鮮な農作物や農業体験の場を地域住民に提供している。特に、人気があるのは、スイートコーンをはじめ朝に収穫した野菜をその日のうちに店頭並べ、消費者に食べてもらうことのできる「朝採り野菜」。

JAあかし経済課の本間知樹さんは販売事業を担当して3年。農業者の所得向上をめざし、農作物の販路拡大に取り組んでいる。週に4日は生産者のほ場を訪れ、営農に関する相談対応や農作物の生育状況の確認を行っており、生産者と積極的にコミュニケーションをとるよう心がけている。

生産者の井上学さんは、キャベツを10年以上栽培しているが、JA職員からの勧めもあり、6年前からスイートコーンを始めた。当初は約50aの圃場で栽培していたが、本間さんが圃場を訪れるようになった3年前から2ha、2.5haと面積を拡大し、今年度は初年度の7倍となる約3.5haへと拡大した。

井上さんは「本間さんが情報提供のために頻繁にほ場を訪れてくれたことや、収穫期にはJAからの集荷便を増便してもらえたことが面積拡大のきっかけになった」と話す。

本間さんは「『朝採り野菜』をきっかけとして、地域の方に野菜の魅力を発信し、さらに販売量を増やして農業者の所得向上へとつなげるとともに、次世代の農業者への就農支援を行ってきたい」と話す。

JAあかしは、都市農業の長所を生かした地域活性化に今後も取り組み、農業者の所得増大と農業生産の拡大に努めていく。

JAあかしの都市農業の魅力

産地と消費地が近いという利点から、
「朝採り野菜」をはじめ
新鮮な農産物の供給や農業体験の場の提供など
地域活性化に取り組む